



## 『おかえりの神様』

すすもり あかね  
鈴森 丹子 / 著 りりこ  
梨々子 / イラスト KADOKAWA メディアワークス文庫

「おねがいだからなんとかして神様」  
なんともついでにない日に神谷千尋はこう祈った。その帰り道に狸を拾ったが、この狸はただの狸ではなかった。

「それがしを何と心得る。神様でござるぞ」

不思議な神様と千尋の生活が始まる。

この作品では、動物の姿をした神様たちが登場し、4つの物語が語られます。驚きのポイントが、あちこちにちりばめられていますので、たくさん驚いてみてください。

## 『シュレディンガーの猫探し』

こばやし いっせい ひだり  
小林 一星 / 著 左 / イラスト 小学館 ガガガ文庫

人や物事を疑い、謎を解き明かす『探偵』と謎を受け入れ肯定し、迷宮入りへと導く『魔女』。探偵嫌いの高校生・守明令和が出会ったのは『迷宮落とし』の異名を持つ、神秘を追求する魔女だった。

何を書いてもネタバレになってしまいそうなので多くは語りません。ただ1つ、あの場面を読んで一緒に「えっ？」と言って頂けるとうれしいです。

(ちなみに、「シュレディンガーの猫」という用語があります。調べてみてね。)

## 『奇譚ルーム』

きたん  
はやみね かおる / 著 しきみ / 画 朝日新聞出版

ルームというSNSを知っていますか？定期的、あるいは一時的にネット上に部屋が作られ、仲間を集めて趣味の話をしたり、同窓会を開いたり。

そんな数あるルームの1つ、『奇譚マニア』のルームに招待されたぼく。たくさんのめずらしく、不思議な話が語られる中、だんだん空気があやしくなってきた。

まずは本を開いてびっくりしてください。かわいらしいイラストと共に語られる数々の物語。おはなしの最後には一体何がまっているのでしょうか？

(今回のテーマで最初に思い出したのがこの作品でした。初めて読んだ時には本当にびっくりしました。)

## 『西新宿幻影物語』

にししんじゅくげんえいものがたり  
こばやし くりな よしだ せいじ  
小林 栗奈 / 著 吉田 誠治 / 装画 産業編集センター

この世界には、生前に積み立てた時間を、死後に『幻影』としてこの世にとどまることができる『幻影保険』というものが存在している。普段は弁護士をしている坂井だが、『幻影保険』の執行人という裏の顔があった。

この物語は、「まさかの結果に」が少し切ないなと感じました。登場人物の心情にも注目です。

その結果は、ぜひこの本を読んでご確認ください。